

自己資本の構成に関する開示事項(2023年3月期第3四半期)

【三井住友信託銀行】

(単体・国際統一基準)

(単位:百万円、%)

CC1:自己資本の構成(銀行単体)				
国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2022年 12月末	2022年 9月末	別紙様式 第十三号 (CC2) の参照項目
<b>普通株式等Tier1資本に係る基礎項目</b>				
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	1,855,845	1,829,085	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	685,103	685,103	
2	うち、利益剰余金の額	1,170,741	1,180,771	
1c	うち、自己株式の額(△)	-	-	
26	うち、社外流出予定額(△)	-	36,789	
	うち、上記以外に該当するものの額	-	-	
1b	普通株式に係る新株予約権の額	-	-	
3	評価・換算差額等及びその他公表準備金の額	190,480	188,263	
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額 (イ)	2,046,326	2,017,348	
<b>普通株式等Tier1資本に係る調整項目</b>				
8+9	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	69,667	62,568	
8	うち、のれんに係るものの額	-	-	
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	69,667	62,568	
10	繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	
11	繰延ヘッジ損益の額	△ 52,378	△ 77,672	
12	適格引当金不足額	-	-	
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	864	901	
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	8,040	11,133	
15	前払年金費用の額	179,310	178,021	
16	自己保有普通株式(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-	
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-	
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	
20	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	
21	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	
24	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	
25	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	
27	その他Tier1資本不足額	-	-	
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額 (ロ)	205,504	174,953	
<b>普通株式等Tier1資本</b>				
29	普通株式等Tier1資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	1,840,821	1,842,395	

(単位:百万円、%)

CC1:自己資本の構成(銀行単体)					
国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ	
		2022年 12月末	2022年 9月末	別紙様式 第十三号 (CC2) の参照項目	
<b>その他Tier1資本に係る基礎項目</b>					
30	31a	その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額	-	-	
	31b	その他Tier1資本調達手段に係る新株予約権の額	-	-	
	32	その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	270,000	270,000	
		特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
33+35	適格旧Tier1資本調達手段の額のうちその他Tier1資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	-	
36	その他Tier1資本に係る基礎項目の額 (ニ)		270,000	270,000	
<b>その他Tier1資本に係る調整項目</b>					
37	自己保有その他Tier1資本調達手段の額		-	-	
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額		-	-	
39	少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額		-	-	
40	その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額		10	10	
42	Tier2資本不足額		-	-	
43	その他Tier1資本に係る調整項目の額 (ホ)		10	10	
<b>その他Tier1資本</b>					
44	その他Tier1資本の額((ニ)-(ホ)) (ヘ)		269,990	269,990	
<b>Tier1資本</b>					
45	Tier1資本の額((ハ)+(ヘ)) (ト)		2,110,811	2,112,385	
<b>Tier2資本に係る基礎項目</b>					
46	Tier2資本調達手段に係る株主資本の額		-	-	
	Tier2資本調達手段に係る新株予約権の額		-	-	
	Tier2資本調達手段に係る負債の額		278,022	305,579	
	特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額		-	-	
47+49	適格旧Tier2資本調達手段の額のうちTier2資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	-	
50	一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額		5,370	9,303	
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2算入額		-	-	
50b	うち、適格引当金Tier2算入額		5,370	9,303	
51	Tier2資本に係る基礎項目の額 (チ)		283,393	314,883	
<b>Tier2資本に係る調整項目</b>					
52	自己保有Tier2資本調達手段の額		-	-	
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額		-	-	
54	少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額		-	-	
55	その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額		1,540	1,540	
57	Tier2資本に係る調整項目の額 (リ)		1,540	1,540	
<b>Tier2資本</b>					
58	Tier2資本の額((チ)-(リ)) (ヌ)		281,853	313,343	
<b>総自己資本</b>					
59	総自己資本の額((ト)+(ヌ)) (ル)		2,392,665	2,425,728	

(単位:百万円、%)

CC1:自己資本の構成(銀行単体)				
国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2022年 12月末	2022年 9月末	別紙様式 第十三号 (CC2) の参照項目
<b>リスク・アセット</b>				
60	リスク・アセットの額の合計額	(ヲ) 21,166,974	20,859,113	
<b>自己資本比率</b>				
61	普通株式等Tier1比率((ハ)/(ヲ))	8.69%	8.83%	
62	Tier1比率 ((ト)/(ヲ))	9.97%	10.12%	
63	総自己資本比率((ル)/(ヲ))	11.30%	11.62%	
<b>調整項目に係る参考事項</b>				
72	少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	173,570	128,245	
73	その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	66,951	66,955	
74	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-	-	
75	繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	43,581	41,526	
<b>Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項</b>				
76	一般貸倒引当金の額	-	-	
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	3,264	4,502	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びビリアル向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	5,370	9,303	
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	106,335	107,259	
<b>資本調達手段に係る経過措置に関する事項</b>				
82	適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額	-	-	
83	適格旧Tier1資本調達手段の額から適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-	-	
84	適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額	-	-	
85	適格旧Tier2資本調達手段の額から適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-	-	